

社団法人 日本病院会 平成19年度 第3回 定例常任理事会 合同会議 速報録
第2回 定例理事会

日 時 平成19年6月13日(水) 午後2時～5時
場 所 つくば市・オークラフロンティアホテルつくば 1階「昴」の間
出 席 者 62名(定数66名、出席48名、委任状14名、計62名で過半数を超え会議は成立)

山本会長から開会挨拶を述べた後、5月に新会員となった北海道・苫小牧東病院(橋本洋一理事長)を紹介、また、新たに本会参与に委嘱願った日本病院薬剤師会・伊賀立二会長を紹介した。紹介後、第57回日本病院学会 藤原秀臣 学会長に対し謝辞を述べ、藤原学会長から、役員各位の協力を得、明日から「医療と社会の豊かな共生と新たな創造」をメインテーマとして開催される旨の挨拶があった。

会議にあたり、山本会長から、会議定足数の報告後、議事録署名人に宮下正弘、石井和博両理事を選任し、議案審議に入った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

正会員の入会4件、正会員の退会1件、正会員の退会撤回2件、賛助会員の退会1件の届出について協議した結果、届出を承認した。

6月13日現在、正会員2,691会員(公的929会員、私的1,762会員)、賛助会員486会員(A会員110会員、B会員335会員、D会員41会員)、特別会員A2会員。

2. 各団体からの依頼について

下記依頼事項について協議した結果、依頼を承認した。

(新規:後援、委員就任)

①「野口英世アフリカ賞」(内閣府)の募金委員就任

推薦者:山本 修三 会長

②シンポジウム「医療と法律の共生を目指して」(医療と法律研究協会)の後援および評議員の委嘱依頼

推薦者:池澤康郎、大井利夫 両副会長

(継続:後援)

①第8回治療食献立・調理技術コンテスト(日本メディカル給食協会)の後援
名義使用

②秋田県病院大会(秋田県病院協会)の後援依頼

3. 第59回日本病院学会の開催について

開催の提案があり、了承された。

・開催年度 平成21年

- ・開催地 熊本県
- ・学会長 宮崎久義（独立行政法人 国立病院機構熊本医療センター長）

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

本会としての診療報酬改定に向けての諸活動について現状報告があった。まず、日本病院団体協議会の動向として、「医療費抑制政策からの転換を求める(要望)」、平成 20 年度診療報酬改定要望を柳澤伯夫厚生大臣に提出した。改定要望事項は、団体を構成する 11 団体の共通事項としての一致を見たとし、Ⅰ. 総括的提言①病院医療の危機②公的医療費の拡大③診療報酬連携を踏まえた診療報酬体系④医療技術の適正な評価。Ⅱ. 重点要望事項①入院基本料の見直し②手術技術(料)の適正評価③後期高齢者医療の在り方。Ⅲ. 一般要望事項①一般病棟入院基本料 1(7 対 1)の見直し②医療期間間の連携に対する評価③IT に対する評価④外来看護加算の新設⑤時間外・休日・深夜加算の評価の見直し⑥患者が複数の診療科を受診した場合の初診料および再診料・外来診療料の見直し⑦再診料及び外来診療料の格差是正⑧精神関連要望事項⑨NST（栄養サポート）⑩医療安全への点数評価⑪亜急性期入院医療管理料の見直し⑫在宅療養支援機能⑬リハビリテーション⑭小児科・産科連携診療の評価 ⑮DPC 関連要望事項としている。また、四病協として、「診療報酬改定に向けて(声明)」している現状報告を述べた後、役員各位との意見交換を実施した。

2. その他

(1) 「総合医」及び「総合科」について

現在、厚労省で検討している診療科名の標榜に関連し、「総合医」「総合科」について役員各位に意見を求めた。現在の診療科は年齢層で切って名称付けを行っているものもあり、患者にとって分かりにくい現状にある。患者の立場になって分かりやすい診療科等の名称に統一することを基本に医療制度委員会で検討することを諮問した。

(2) 終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて

厚生労働省の検討会で最終的なガイドラインが取りまとめられた。ポイントは、①終末期の患者さんの意思を優先すること。②決定のプロセスに当たっては、医師の独断を避けるとしている。今後、ガイドラインに肉付けすることとなり、ガイドライン(解説編)に対する意見提出を役員各位に依頼した。

〔報告事項〕

1. 各委員会関係の開催報告について

下記報告があり、了承された。

(1) 日本診療録管理学会 編集委員会(第 1 回・5 月 29 日)

①会誌「診療録管理」第 19 巻第 2・3 号の編集について②学術大会特集号の取扱いについての概要報告。

(2) 日本診療録管理学会 理事会(第 1 回・6 月 8 日)

- ①平成 19 年度事業計画及び収支予算(案)の件②理事・監事・評議員の改選に関わる件③名誉会員の推薦の件:学術大会長を歴任した 3 学会長を名誉会員とした。
- (3) 診療情報管理課程通信教育 後期スクーリング(19 年 2/23～5/26)
8 会場で 15,542 名の参加。
- (4) 診療情報管理課程通信教育 コーディング勉強会(19 年 5 月 14 日～6 月 9 日)
3 会場 101 名の参加。
- (5) 医療制度委員会(第 1 回・6 月 5 日)
①委員自己紹介、今後の委員会の運営、副委員長長の選出について:副委員長には、石井暎禧 常任理事を選出、今後の検討課題としては、DPC と DRG/PPS の比較検討、後期高齢者医療制度のあり方、国民皆保険制度を踏まえての今後の医療提供体制、医療提供体制と診療報酬の関係を上げた。また、会長・副会長からの諮問を実施することとした。②医療事故紛争と ADR の在り方について:「過誤」「事故」の定義を検討。③報告事項及び委員提案:中医協の動向報告と DPC 準備病院の拡大、病院機能による病院の整理と医療システムについて
- (6) 臨床研修指導医養成講習会(第 1 回・6 月 8 日～10 日)
参加者数 50 名(修了者 49 名)

2. 四病協関係の会議開催報告について

下記報告があり、了承された。

(1) 医業経営・税制委員会(第 2 回・6 月 11 日)

①平成 20 年度税制改正要望(公益法人制度改革関係)について:前年同様とし、重点事項には、消費税における社会保険診療報酬等の非課税制度の見直し、医療機関に対する事業税の特例措置の存続・拡充、病院用建物等の耐用年数の短縮の 3 事項。医療法人制度関係の重点事項としては、持分ある医療法人が非営利性を明確化させた新たな医療法人に移行する場合の非課税措置、社会医療法人の医業収益非課税等を挙げた。要望は、四病協の統一意見として提出することとし、各団体から個別には提出しないこととした。

3. 中医協の開催報告について

5 月 30 日(水)に開催した薬価専門部会、総会の報告として、2008 年度の薬価制度改革に向けての議論を本格的に開始した。改定に際し、今後、製薬医薬品卸から意見聴取を図り 12 月には制度改革案の取りまとめを実施する旨の報告があった。

4. 医事法関係検討委員会の開催報告について

5 月 25 日(金)の開催報告として、唐澤会長より諮問のあった「医師・患者関係についての法的再検討」の報告書作成を検討、報告書は今年の暮れの作成を目指している旨の報告。

5. 医療機関の未収金問題に関する検討会の開催報告について

6 月 1 日(金)に開催した検討会の配布資料を一読願うことで了承。

6. (財)日本医療機能評価機構の諸会議報告について

6月1日(金)に開催された企画運営委員会(第1回)では、病院機能評価認定に関する運用要項の改定、平成18年度事業実績報告及び収支決算報告が承認された。また、同日開催された継続的質改善・質保証システム検討会(第2回)では、内部評価の基本事項、内部評価オーガナイザーの養成が了承された。意見として、中小病院の受審に際してハードルが高い現状が取り上げられた。

7. 2007年第15回IFHRO(診療録協会国際連盟)大会関連事業の開催報告について

5月26日(土)～31日(木)に韓国で開催したIFHROの総会(3年に一度開催)で執行委員の選出、3年後(2010年・イタリア)の開催地が承認、IFHRO大会では基調講演(3題)、演題発表(101題)があり、37ヶ国約1000名の参加があった旨の報告を了承。

8. 日本病院会の顧問について

5月期代議員会、総会で顧問として承認された武見敬三参議院議員から、本会の主務官庁の副大臣を就任しているため辞退申し出があった旨の報告があり、了承された。

9. 7月期常任理事会の開催について

下記要領での開催を了承した。

- ・日時 平成19年7月28日(土)
常任理事会 午後1時～5時
叙勲祝賀会 午後5時～
- ・会場 東京都・中央区・ロイヤルパークホテル

10. 中山耕作先生のお別れ会について

下記、開催要領の説明、役員各位への出席依頼を実施した。

- ・日時 平成19年7月8日(日) 午後2時～
- ・会場 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」の間

11. 支部長の交代について

下記、変更を了承した。

(福井県支部)

(新) ^{みうら} 三浦 ^{しょうじ} 将司	福井県済生会病院 院長
事務局	福井市和田中町舟橋7-1 福井県済生会病院内
	電話 0776-23-111

↑

(前) ^{もりた} 森田 ^{のぶと} 信人	福井県立病院 院長
---	-----------

提出議題の審議を終了し、定刻に会議を議了した。